令和5年度事業報告(概要)



札幌市豊平区社会福祉協議会

地区社協・福まちに対する助成金



①地区社協(共同募金)助成:1,234,000円

②共同募金助成:

725,000円

③地区福まち助成:

5,014,890円

2 区福まち全体研修会の開催



令和5年10月18日(木)に豊平区民センター2階大ホールで開催。 141名の参加がありました。今回の内容は、より活動の参考にしてい ただくことを目的として、実践報告のみを行いました。

他区の先行事例として、単位町内会の支援を丁寧に行っている富丘西宮の沢地区福まちの方より報告をいただきました。区内からは、関係者が連携して見守り・訪問活動に取り組んでいる、福住地区の福住さつき町内会でつき花かご会 代表 瀬戸川氏、東月寒地区の東月寒希望ヶ丘町内会 副会長兼総務部長代行 浅野氏に報告をいただきました。

福祉のまち推進センターの周知・啓発 ・福まち活動拠点周知活動



福祉のまち推進センターでは、 ちょっとした日常の困りごと等 住民として、専門機関などと



福住地区が4月より月2回福まち相談室を開設したことにより、 本会で作成したポスター3枚、のぼり2枚を配布し周知を図りま した。

4 区福まち活動調整員連絡会議の開催



| 回目(8月2日)には、法テラスの機能と役割について、法テラス札幌の事務局長から説明いただき、理解を深めました。 | 17名の参加。

2回目(I2月7日)は、区家庭児童相談室の機能と役割について、担当係長から説明いただいたうえで、事例検討も交えてさらに理解を深めました。27名の参加。

5 区・地区地域見守りネットワーク推進会議の開催



令和5年 | 2月 | 日(金)に豊平区民センター2階大ホールにて開催。

地区福まち関係者、区民児協正副会長、豊平区役所、札幌方面豊平警察署、豊平消防署、札幌市見守り協定締結事業者(道新会札幌八日会、札幌ヤクルト販売(株))から25名の参加がありました。

また、福住地区では福まち主催により、地区単位での会議を開催し、より地域に根差した見守りネットワークの推進を図りました。 (7/21(金) 開催。道新・ヤクルト・ジェイコムが参加)。

同様に、西岡、平岸、東月寒地区の民児協でも、地区単位の会議を開催しました。

6 地区福祉のまち推進センター等への活動支援



各地区の活動もコロナ禍前の状況に戻り、区社協職員が地域に出向いていく機会を増えました。

特に、単位町内会へ出向く機会が増えています。

(豊平、西岡、福住、東月寒)

7 札幌市・各区社会福祉協議会主催 福まち関連事業への協力



令和5年度も、豊平区の活動が全市、他区から注目される機会が多く ありました。

(美園地区が東区、月寒地区が全市・南区、西岡地区が全市・中央区)

8 ふれあい・いきいきサロン事業の推進



豊平区では54サロンが登録しています。令和5年度においては、2 サロン(サロンつながる【南平岸地区】、若ガエルサロン【平岸地 区】)が新たに登録しました。

また、12/7には交流会を開催し、8名が参加しました。さらには、 新たなサロン支援の取り組みとして、活動応援グッズの貸出を開始しま した。

福祉除雪事業の推進



申込件数(554→544)及び実施件数(529→5 | 4)は共に減。

新たな協力員の確保の取組みとして、ホームページにオンラインで登 録できる仕組みを導入し、協力員の確保につながりました。

令和5年度は、協力員が調整できず、利用をお断りするようなケース はありませんでした。→ 地域や企業の多大なる協力の賜物

協力員数⇒個人(184名→185名)、企業・団体(35→34)

| 0 生活支援体制整備事業の推進





協議体(生活支援推進連絡会)は、区で2回、地区で第1エリア8回、 第2エリア4回、第3エリア1回の計13回開催しました。

協議体の開催により、各工リアで移動スーパーとくし丸を活用した買い物支援・交流拠点を継続運営。また、月寒地区では介護予防センターと連携し養成したボランティアによるカフェ運営につながっています。

II ボランティア登録・相談調整の実施



ボランティア登録数は減(個人 $192\rightarrow168$ 、団体 $19\rightarrow18$)※新規登録はあるものの、意向調査により辞退が多かった。要請相談件数は増($18\rightarrow33$)も、派遣件数は微減($10\rightarrow8$)自宅内の片付けや掃除、ゴミ出しの要請が多い。ゴミ出しは、近隣の方の支援が望ましく、近隣で支援できる方がおらず、つながらないケースが多くありました。

特に、第1地域包括支援センターや豊平相談センターからの相談が増えています。

12 ボランティアの養成・育成研修の開催



「THE VOLUNTEER DAY IN とよひら〜ボランティアを学ぶ | 日〜」と題して、午前(2 | 名参加)と午後(20名参加)に分けて養成講座を2/16に開催。受講者のうち6名の方がボランティア登録されました。

13 ボランティア受入団体等との連携



豊平区ボランティア 受入施設·団体一覧

< 2023 >

- ① 高齢者関係
- ② 障がい者関係
- ③ 児童関係
- 40 その他

本メニューに掲載している施設については、本会にて、ポランティア受入れの情報整備

- 豊平区社会福祉協議会(下記参照)までご連絡ください。
- ◆ボランティア活動保険の加入受付は、豊平区社会福祉協議会の他 各区社会福祉協議会、札幌市社会福祉協議会ポランティア活動 センターで行っております。
- ◆約束の時間に急に行けなくなってしまった場合は、必ず担当者へ



札幌市豊平区社会福祉協議会 札幌市豊平区平岸6条10丁目 豊平区民センター1階

(電話) 815-2940 (FAX) 815-7370

例年、ボランティア活動希望者に対して提供する情報として、区内福 祉施設・団体からボランティア活動の募集内容の聴取を行っております。

福祉施設については、一時受け入れを休止していたが、感染対策を行 うことにより受入施設・団体数は前年より増となっています。 (27⇒48) また、受入施設・団体との情報交換会を、7月3日(月) に開催し、12名が参加されました。

| 4 福祉教育の推進



各学校における総合的な学習の時間への協力として、活動機材の貸出及び出 張講座の講師の派遣を実施。特に出張講座については、区社協職員が月寒東小 学校及びしらかば台小学校に出向き、片マヒ疑似体験の実技講座を行う他、障 がい当事者講師の派遣も行いました。また、新たに美園小学校において、関係 機関と連携して認知症サポーター養成講座を行いました。

15 ボランティア連絡会への活動支援



豊平区ボランティア連絡会は、継続して積極的に活動を展開。総会時に講演会を併せて開催し、40名が参加されました。また、PR強化を目的にオリジナルジャケットを作成しました。

第2回チャリティーパークゴルフ大会も開催し、45名に参加いただき、31,860円を赤い羽根共同募金へ寄附しました。

|6 日常生活自立支援事業の推進

	本事業に関するもの				
相談件数	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
1,897	9	4	7	2	22

17 各種資金貸付事業の推進

種類	相談件数	貸付件数
生活福祉資金	5 7 6	19 福祉資金:1 緊急小口:6 教育支援資金:13
応急援護資金	4 5	0
その他	2 9 7	0
合計	9 1 8	1 9

18 法人の運営

- (1) 運営理事会の開催(5/22、3/8)
- (2) 正副会長会議の開催(3/5)
- (3)社会福祉基金及び愛情銀行の管理運用基金運営事業 15,255,844円
- (4)正会員及び賛助会員の加入促進並びに寄付の募集
 - 正会員 109団体・350名
 - ・賛助会員 5団体5口・42名50口
 - · 寄附受理 9件·735,542円、2物品

| 9 他団体事務局の運営



- ① 豊平区民生委員児童委員協議会
 - ・代議員会の開催 毎月 | 回
 - ・民生委員・児童委員研修会(区保健福祉部との共催) | 10/11「ヤングケアラーについて」「救急業務の現場から」
 - ・活動PR「活動パネル展」を開催 5/22~5/26
 - ・地区民児協定例会等出向く機会も増えています!

20 他団体事務局の運営





ピンバッジ デザイン は公募



② 豊平区共同募金委員会 → 全市で唯一募金額の増

年度	街頭募金	戸別募金	地域法人募金	合計
R4	222,864円	4,430,387円	1,655,255円	6,308,506円
R5	392,400円	4,367,499円	1,922,199円	6,682,098円
R4-5 増減	169,536円	△62,888円	266,944円	373,592円

21 実習生の受け入れ



ソーシャルワーク実習(社会福祉士の養成)の実習生として、 北星学園大学及び北海道医療大学から各 I 名を受け入れました。

→ 将来の福祉人材の育成にも協力しています!